

二国間関係

1.政治関係 1952年の国交樹立以来、我が国とスリランカとの間には、特に大きな政治的懸案もなく、貿易、経済・技術協力を中心に良好な関係が続いている。近年においては、「平和の定着」への貢献に資するとの観点から、明石康元国連事務次長をスリランカの平和構築及び復旧、復興に関する政府代表に任命し、「スリランカ復興開発に関する東京会議」を開催するなど、スリランカ和平プロセスを積極的に支援している。

2.経済関係 (1) 対日貿易 (我が国財務省通関統計)

(イ) 貿易額 (2004年) 輸出 1.9億ドル 輸入 3.3億ドル

(ロ) 主要品目

輸出 エビ、紅茶、まぐろ、繊維製品

輸入 自動車、一般機械、繊維品、電気機械、建設機材

(2) 我が国からの直接投資 (我が国大蔵省統計、許可・届出ベース)

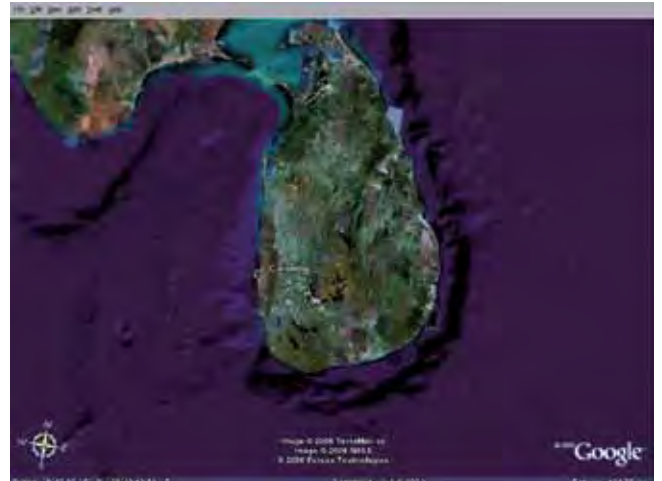
1989年度から2002年度までの累計60件610億円(業種は運輸、サービス、電気等多岐にわたっている。)

3.文化関係 (1) 文化無償協力、南西アジア青年招聘計画、国費留学生の受入れ、日本語教育普及、各種展示事業等を実施。

(2) なお、我が国は2003年度までの累計で21件802.12百万円を文化無償協力(含む草の根文化無償)として供与。

4.在留邦人数 778人(2005年8月現在、在「ス」日本大使館調査)

5.在日当該国人数 6,467人(2001年12月末日現在、法務省)

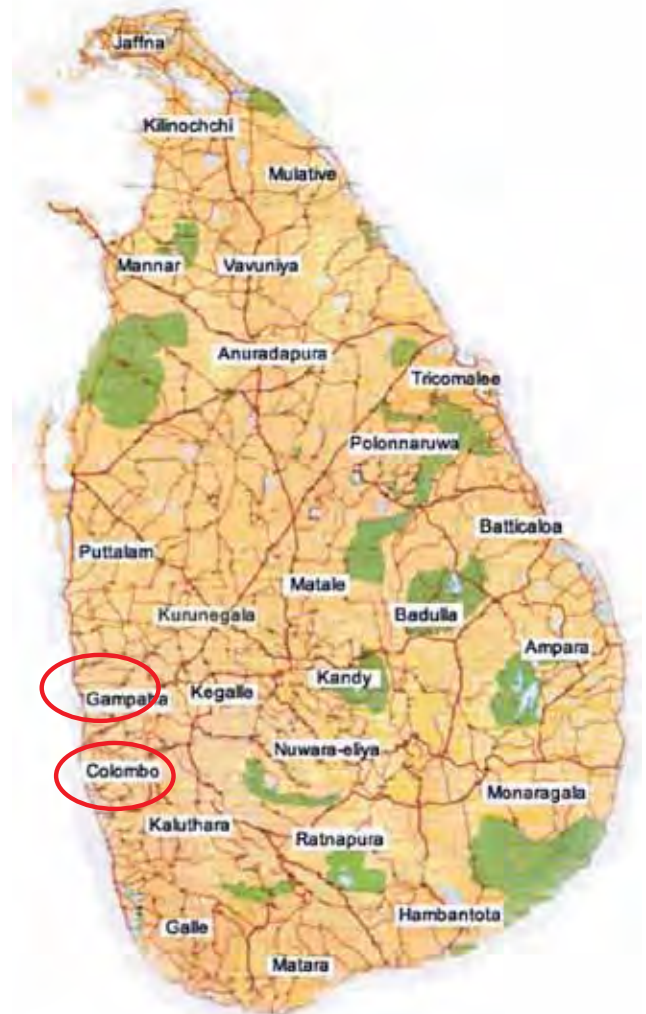




スリランカ



ガンパハ⇒
コロombo⇒



仏教 約 2500 年前 (紀元前 5 世紀頃) にゴータマ・シッダッタ ((パ) Gotama Siddhattha) (ガウタマ・シッダールタ ((梵) Gautama siddhaartha)) (釈迦) が現在のインド北部ガンジス川中流域で提唱し、各地に広まり現在も続く世界宗教。キリスト教・イスラム教と並んで世界三大宗教の 1 つ。

釈迦の没後、約 500 年を経て

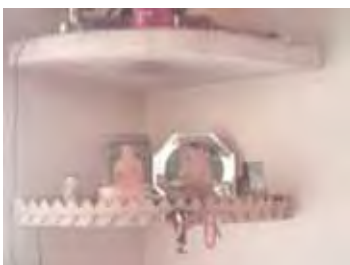
仏教的な考えにより、①大乘仏教 (だいじょう) ②上座部仏教 (じょうざぶ) に分かれました。
教への学び方により、①密教 (みつきょう) と②顕教 (けんぎょう) とに分かれます。

上座部仏教 (じょうざぶぶっきょう) ・旧名称<小乗仏教>

「乗」とは教への事で、乗り物にたとえられ、小乗とは小さな乗り物です。なぜなら、出家して厳しい修行を積んだ僧侶だけがさとりを開き救われます。したがって、修行をしたわずかな人が救われ、一般の人々は救われません。釈迦の没後の、長い間この思想が定着していました。

★ 小乗仏教 (小さな乗り物) という名称は、大乘仏教からつけた差別語なので、最近では「上座部仏教 (じょうざぶ)」といわれています

小乗仏教での釈迦のあり方 小乗仏教では、さとりを開いた 35 歳以上の釈迦を崇拝します。



五戒 在家の仏教徒として守るべき基本的な五つの戒のこと。自分が守ることを戒といい、他人をして守らせることを律という。

1.不殺生戒（ふせっしょうかい） 生き物を殺してはいけない。

蚊、ハエ、カラス、ゴキブリなど殺さない

2.不偷盗戒（ふちゅうとうかい）

他人のものを盗んではいけない。

3.不邪淫戒（ふじゃいんかい）

自分の妻（または夫）以外と交わってはいけない。

4.不妄語戒（ふもうごかい）

うそをついてはいけない。

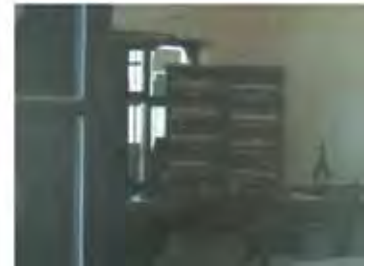
5.不飲酒戒（ふおんじゅかい）

酒を飲んではいけない。



祝日 2005年バージョン

- ▲1月14日 タミル・タイ・ポンガル・デー
- 1月21日 イドゥ・ウル・アラー(イスラム教徒の祭日)
- 1月24日 Duruthu(ドゥルトゥ月)のポヤ・デー
- 2月4日 独立記念日
- 2月23日 Navam(ナワン月)のポヤ・デー
- 3月8日 マハー・シワラトゥリ・デー(ヒンドゥー教徒の祭日)
- 3月25日 Medin(メディン月)のポヤ・デー
- 3月25日 グッド・フライデー(キリスト教徒の祭日)
- ▲4月13日 シンハラ人とタミル人の大晦日
- ▲4月14日 シンハラ人とタミル人の新年
- 4月16日 Bak(バク月)のポヤ・デー
- 4月22日 マホメット生誕祭(イスラム教徒の祭日)
- 5月1日 メーデー
- 5月23日 Vesak(ウェサック月)のポヤ・デー
- 5月24日 ウェサック月ポヤ・デー翌日祭
- 6月21日 Poson(ポソン月)のポヤ・デー
- 7月21日 Esala(エサラ月)のポヤ・デー
- 8月19日 Nikini(ニキニ月)のポヤ・デー
- 9月17日 Binara(ビナラ月)のポヤ・デー
- 10月17日 Vap(ワプ月)のポヤ・デー
- 11月1日 ディーパワリ・フェスティバル・デー
- 11月4日 ラマダーン明け(イスラム教徒の祭日)
- 11月15日 Il(イル月)のポヤ・デー
- 12月15日 Unduvap(ウンドゥワプ月)のポヤ・デー
- 12月25日 クリスマス



カースト制

単純な4階級

バラモン (僧侶) クシャトリア (王族、武士) バイシャ (平民) ジュードラ (奴隷)

約2000ぐらいに分かれる

インドの「ネワール民族」のカースト スリランカも酷似

ヒンドゥー教徒の高位カースト

バルム → ヒンドゥー教司祭

○デオ・バジュ ○ バッタ ○ ジャー

シェショ → 官吏、商人

○ツォタリア ○バンチタリア

仏教徒の高位カースト

グバージュ (バジャチャリア) → 仏教司祭

バレ (バンラ) → 金銀細工師

ウレ (ウダス)

トゥラダル → 商人

バニア → 商人

シカーミ → 大工

マリカーミ → 菓子屋

タムラカール → 銅器職人

ロハンカール → 石工

アワ → レンガ積工

カンサカール → 錫職人



中・低位カースト

ティニ (シバチャリア) → 葬いの司祭

グア・ハレ → 牛飼い

ジャブ (マハルジャン) → 農民

クマ (ブラアティ) → 壺作り

テウラ (ラージ・タラ) → こうじ作り

カドゥ (マリ) → 庭師

ナウ (ナビット) → 床屋

カウ (ナカーミ) → 鍛冶屋

サエミ (マナンダール) → 油売り

クサ (タンドゥカール) → 精米、壁塗り、織物

テペ → 農民

ブン (チトラカール) → 絵師

カター (スッダカール) → へその緒切り

チバ (ランジットカール) → 染物屋

サンガ → 洗濯屋

デザル → 農業労働

ブル → 葬いの松明持ち

バー → 葬いの供物受け

ドゥイン → 穀物採り、運搬役

バラミ → 木こり

チビ → 捺染職人

ナエ (カサイン) → 屠殺、肉売り

※ ティニからテウラまでが同等

※ ガドゥからチビまでが同等



※ ナエからハラフルはそれぞれ別で低位カースト
-98-

ジュキ (クスレ) → 仕立屋、楽師
 ドーン (バディカール) → 太鼓演奏者
 クル → 太鼓作り
 ドビ (ラジャカ) → 洗濯屋
 ボデ (デョラ) → 漁師、掃除人、儀礼の後片付け
 チャメ、チャムカラ (クチカール)、ハラフル → 掃除人、汚物処理



⇒ 人権監視グループ「Human Right Watch」 身分差別でなく人種差別

⇒ 職業差別

⇒ 結婚 自殺者

⇒ ゴミ

服装

襟なし

サロマ バディッグ サリー

日程

日程	内容	宿泊
8 / 2	<p>AM:06:30 JICA 兵庫より小型マイクロ(MK タクシー)にて出発。 10:05 関空発 CX503 便→ PM:13:05 香港着。コロンボ行き 14:10 香港発 CX735 便に乗り換えるも気象悪化により出発が約 2 時間遅れる。シンガポール経由で 22:00 頃にコロンボ着。坂田英樹氏(JICA スリランカ次長。以下、坂田氏)、スニル氏(JICA スリランカ)の出迎え。空港にて両替後ホテルにチェックイン。ホテルにてアジャンタさん出迎え、当面のスケジュール確認等を行う。</p>	<p>Hotel Renuka (※部屋割りは左記「内容」に後述)</p>
/ 3	<p>AM:09:30 ホテル出発、コロンボ大学を訪問し IT 分野の視察、カブラル氏(JICA スリランカ)の通訳で意見交換を行う。11:50 スポーツ省を訪問し、近藤如巨氏(JICA 空手専門家)指導での実技見学を行う。 PM:市内スリランカ料理店「Raja Boujun」にて昼食会。その後 JICA スリランカ事務所へ移動、坂田氏及び中川公輝氏(JICA ボランティア調整員。以下、中川氏)よりスリランカにおける ODA の状況等を聞き、意見交換を行う。15:00 より義足支援を行っているローカル NGO「コロンボ・フレンド(COLOMBO FRIEND-IN-NEED SOCIETY)」へ派遣されている飛永浩一郎 JOCV 短期隊員、加藤尚子同シニア隊員の活動を視察、意見交換を行う。 ラルソン カスタム テーラー に行き、オーダーメイドのズボンの採寸。 19:00 市内中華料理店「桃源郷」にて主に教育分野で各方面に派遣されている JICA シニア海外ボランティア(以下、SV)ならびに JOCV 隊員との夕食懇親会を行う。</p>	<p>Hotel Renuka</p>
/ 4	<p>AM:08:30 ホテルをチェックアウト。モラトワ大学へ配属されている田中勝利氏、宮尾眞矢子氏、朝川雅子氏、各 JICA SV の活動現場を、Mt.Lavinia のスラムでは今村香代氏 JOCV 隊員の活動現場をそれぞれ視察。 PM:道中の大衆食堂にて昼食後、村(Kurunegala 方面)へ向かう。16:00 頃に Alawwa の Boyawalana にあるチャールス・アビクーン氏宅着。ランジット・ジャヤンタ氏、ナンダナ・ペマシリ氏、各 PHD 研修生が合流。参加者との懇談、夕食</p>	<p>チャールス宅</p>
/ 5	<p>AM:08:00 朝食、休憩の後、10:00 チャールス氏宅を出発。途中同地域内にあるナンダナ氏宅及び診療所「CENTRAL DISPENSARY」を訪問。同診療所の Dr.Seneviratna へ参加者からの寄付金を贈呈。途中 BATIK 店に立ち寄りながら、Thihariya へ移動。 PM:Veyangoda の Thihariya にあるアジャンタ氏宅に到着、同宅にて昼食。 14:00Negombo 海岸の津波被害跡を視察。 DON BOSCO(ドン・ボスコ会)が行っている学童保育施設「DROP-IN-CENTRE(ILO-IPEC/NCPA 支援、約 80 人の子ども/日)を見学。 18:00 頃アジャンタ氏宅に戻り、翌日の仏教寺院運営の日曜学校訪問の打ち合わせ。夕食、懇談。</p>	<p>アジャンタ(A)宅、アジャンタ妻実家、近くのホテル</p>

／6	<p>AM:08:00 仏教寺院到着。僧侶に挨拶、子どもたちの朝礼に参加。朝礼後、講堂に集まり参加者による自己紹介ならびに日本の歌などを紹介、交流を行う。その後、年齢層に分かれた授業にそれぞれ参加する。</p> <p>10:00 よりアーユルヴェーダ(施術師はビーマル・ラナシン氏で 43 代目)を訪問、見学。一部施術を受ける。患者数は約 20 人/日で主にオイルマッサージ、ヨガなど。料金は被施術者の払える額で違ってくる。</p> <p>PM:12:00 にアジャンタ氏宅で昼食、14:30 過ぎまで休憩。その後アジャンタ氏妻親戚宅に移動し、Dr.サラツツ(A 妻親類)より医療事情等の意見交換ならびに音楽等の交流を行う。</p> <p>18:30 過ぎに Kadawata にあるニーラカンティ氏宅に移動、夕食・懇談を行う。</p>	アジャンタ(A)宅、アジャンタ妻実家、近くのホテル
／7	<p>AM:10:00 ニーラカンティ氏が教鞭(英語、裁縫)を取る小中一貫の Puakwatiye 公立学校を訪問する。児童たちによる歓迎レセプションの後に全体集会で参加者による自己紹介はじめ、日本の歌、空手等の紹介を行う。その後、各教室にて児童たちへのアンケート依頼や授業に参加する。</p> <p>PM:ニーラカンティ氏宅にて昼食。その後、同宅を後にシコロンボへ戻る道中に Kelaniya にある仏教寺院「Raja Maha Vihara」を見学。参加者の希望により翌日の予定を繰り上げ、16:00JICA スリランカに対して、各参加者より今回の研修旅行の感想等を報告。なお、坂田氏より前日に Kandy 郊外で爆破事件があったことの報告があった。</p> <p>自由行動中、危うくテロに遭遇しかける…</p> <p>17:00 過ぎにホテルへチェックインし、夕食含め自由行動。</p>	Hotel Renuka
／8	<p>AM:PM にかけて終日自由行動。正午過ぎにコロンボ市内で爆破事件が発生。藤野より参加者の安否確認等を行い JICA スリランカへ報告。</p> <p>PM:22:00 に各部屋ごとにチェックアウトを済ませ本館ロビーに集合、空港へ出発。23:00 空港着、チェックイン。</p> <p>02:15 コロンボ発 CX700 便→(バンコク経由)→</p>	機中泊
／9	<p>PM:→12:10 香港着。13:10 香港発 CX564 便→(台北経由)→19:40 関空着。着後、解散。</p>	